

# はじめにお読みください (README.HTM)

## RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E01 (AFP Emulator for Print) : Version 2.0.2.0

2023年08月

---

「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E01 (AFP Emulator for Print)」(以下「TotalFlow-ER AFP Emulator for Print」、「AFP Emulator for Print」)をご利用いただきありがとうございます。

本READMEファイルには、本バージョンにおける変更点、プログラムの導入手順、マニュアルについて記載されています。「AFP Emulator for Print」をご使用になる前にご一読くださるようお願いいたします。

---

### TotalFlow-ER AFP Emulator for Print Version 2.0.2.0 での変更点

V2.0.0.0 からの変更点は、以下のとおりです。

- 新機能が実装されました。
  - 管理システム (Console Server) の設定画面が追加されました。

管理システムの設定を変更するには、従来はプロファイル「wpmpcnsl.pro」をエディター等で修正する必要がありました。  
本バージョンから、この設定変更が「管理システム設定」画面でできるようになりました。
  - コンソール・ログに次の事象が記録されるようになりました。
    - IPDS Receiver とPSF・IPM・RPDとの接続が確立し、IPDS Receiver の状態が「開始」から「READY」に変わった時：  
接続しました
    - IPDS Receiver とPSF・IPM・RPDとの接続が切断され、IPDS Receiver の状態が「READY」から「開始」に変わった時：  
切断しました
    - システム設定画面で IPDS Receiver の設定を保管した時：  
システムを設定しました
- OpenSSLの脆弱性対応のために、「ER AFP Proxy Server」を更新しました。OpenSSL 1.1.1uとなります。
- サポート環境が追加されました。
  - クライアント環境として次が追加されました。(いずれも 64ビット版)
    - Windows 11 Pro

- Windows 10 Enterprise LTSC 2021
- サーバー環境として次が追加されました。（いずれも 64ビット版）
  - Windows Server 2022
  - Windows 11 Pro
  - Windows 10 Enterprise LTSC 2021
- ホスト・システム（データ送信元）として次が追加されました。
  - IPM for Windows, V4.11, V4.12
- 以下の問題を修正しました。
  - 両面印刷時にデータのエラーが検知されると異常終了する場合がある不具合の修正  
帳票が使用する用紙定義とエミュレーターの設定の両方で、両面印刷が指定されている時に、サポートしないバーコードの印刷などの特定のエラーが検知されると、異常終了する場合がある不具合を修正しました。
  - 帳票の出力先によっては帳票の受信が途中で終了する場合がある不具合の修正  
TIFFファイル作成時に、TIFFファイルのディレクトリー名を含むファイル名の長さが256バイトを超える場合に、帳票の受信が途中で終了する場合がある不具合を修正しました。
  - 両面印刷のページの受信中に「ジョブの取消」をすると異常終了する場合がある不具合の修正  
両面印刷が指定されている時のページの受信中に、「ステータス」画面の「ジョブの取消」ボタンを押すと、異常終了する場合がある不具合を修正しました。
  - ページの受信中に連続して「ジョブの取消」をすると異常終了する場合がある不具合の修正  
ページの受信中に、「ステータス」画面の「ジョブの取消」ボタンを連続して押すと、異常終了する場合がある不具合を修正しました。
  - PbPの印刷ジョブ一覧画面で用紙名が文字化けする場合がある不具合の修正  
PbP（ページ出力制御機能プログラム）との連携時に、PbPの印刷ジョブ一覧画面上に表示される用紙名が、文字化けして正しく表示されない場合がある不具合を修正しました。
  - 印刷時にメモリー・リークが発生する不具合の修正  
プリンターへの印刷時に、1 帳票毎に約 1KB のメモリー・リークが発生する不具合を修正しました。
  - 用紙サイズの設定で、値が範囲外というエラーになる場合がある不具合の修正  
システム設定画面のプリンタ設定・タブ画面で、用紙サイズに7.5インチ以下の値を設定しようとした時に、値が範囲外というエラーになる場合がある不具合を修正しました。

---

## TotalFlow-ER AFP Emulator for Print Version 2.0.2.0 での制限事項

今回のバージョンでは、次の制限事項があります。

- 管理システム設定画面のネットワークドライブ設定で、パスワードに全角文字を入力する場合は、パスワードのマスクを解除してパスワードが表示される状態にする必要があります。

- システム設定画面のディレクトリ・タブ画面の「保管コンソール・ログ」について。  
ディレクトリに何も指定されていない状態で「変更」ボタンを押し、「ディレクトリの設定」画面でディレクトリを選択せずに「設定」ボタンを押し、画面左下の「設定」ボタンを押すと、「渡されたパラメータが異常なため処理できません。」というエラーメッセージが表示されます。  
この場合は、いったん「クリア」ボタンを押してから「設定」ボタンを押す必要があります。
- 管理者モードにログインするためのパスワードの最大長を8桁から64桁に拡張したことに伴い、Version 1.2 までのパスワードは引き継がれません。  
パスワードは初期化されますので、再設定してください。
- ファイル保管時に、TIFFファイルと同時に作成されるテキスト・ファイルが2個になる場合があります。  
受信する帳票データの1ページ目に文字コードや文字位置などのエラーがあり、1ページ目のデータが再送される時に、1つの正常なTIFFファイルに対して2つの不正なテキスト・ファイルが作成される場合があります。
- 「ER AFP Server for Print」のアンインストールは、UACを無効にしてから行う必要があります。  
UACが有効な状態でアンインストールを行うと、一部のファイルや設定が削除されない場合があります。
- キャプチャーしたフォントのバックアップおよびリストアができません。
- ページの受信中に「ジョブの取消」をしても取消できない場合があります。  
PSFからの帳票データの受信中で、1ページ以上を受信した後に、「ステータス」画面の「ジョブの取消」ボタンを押すと、取消できない場合や、帳票データの再送が開始される場合があります。

---

## TotalFlow-ER AFP Emulator for Print Version 2.0.0.0 での変更点

V1.2.1.4 からの変更点は、以下のとおりです。

- サーバーとクライアントが変わりました。
  - クライアントがWebブラウザ上で動作するWebアプリケーションとなりました。
  - サーバーについてもシステムの構成などが変更されました。

詳細については「システム管理ガイド」などマニュアルをご参照ください。

- 画面レイアウトが変わりました。
  - 「プリンタ設定」および「スケジュール」画面が、「システム設定」画面（従来の「オプション設定」）内に移動しました。
  - 一部の設定項目の配置が変わりました。
  - 次の設定項目が、画面上で設定できるようになりました。
    - 「システム設定」
      - プリンタ設定ファイル選択機能の使用
      - TIFFファイル圧縮方法の変更
      - 両面印刷

- 「システムの登録・削除」の「スタートアップ（自動・手動）」
  - 「システム設定」画面から、システム(IPDS Receiver)の起動・停止ができるようになりました。
- 新機能が実装されました。
  - IPDS Receiverの状態を表す表示に「開始」が追加されました。これにより、状態は次のように遷移します。
    - 停止：IPDS Receiverのプロセスが起動していません。（従来の「未起動」）
    - 起動中：IPDS Receiverのプロセスが起動中です。
    - 開始：IPDS Receiverのプロセスは起動していますが、PSFやIPMとの接続が確立していません。
    - READY：PSFやIPMとの接続が確立しています。
    - 受信：PSFやIPMからデータを受信中です。
  - 「AFP Server」の導入ディレクトリーが選択できるようになりました。導入先として、従来は「ドライブ」のみが指定可能で、ディレクトリーは「¥WPMEMPRT」に固定されていましたが、任意のディレクトリーを選択できるようになりました。これに伴い、デフォルトの導入先が「C:¥Program Files¥RICOH-PP¥ER¥ER AFP Server for Print¥WPMEMPRT」に変わりました。
  - セキュリティが強化されました。
    - サーバーとクライアントの間の通信について、HTTPS通信をサポートしました。詳細については「インストールガイド」の『4.3 SSL/TLS設定』をご参照ください。
    - ログイン・パスワードの認証方式を変更し、不正ログインに対するリスク低減を図りました。
- サポート環境が変更されました。
  - クライアント環境として、Windows 10 Pro と Windows 10 Enterprise 2019 LTSC（いずれも 64ビット版）がサポートされます。
  - クライアント環境のWebブラウザとして Google Chrome、Microsoft Edge（Chromium版）（いずれも 64ビット版）がサポートされます。
  - サーバー環境として、Windows 10 Pro と Windows 10 Enterprise 2019 LTSC（いずれも 64ビット版）、および、Windows Server 2016、Windows Server 2019 がサポートされます。
  - ホスト・システム（データ送信元）として次を追加
    - PSF for z/OS V4.7
    - IPM for Windows, IPM for AIX V4.9, V4.10
    - RPD for Windows, RPD for AIX V3.7

サポート環境の詳細については、「インストールガイド」の『1.3 ソフトウェア構成』をご参照ください。また最新の情報については弊社のホームページをご覧ください。サポート環境に関する注意点などについては「システム管理ガイド」の『10.3 OS による制限について』をご参照ください。

- 以下の仕様、機能が変更されました。
  - ユーザーモードと管理者モードが分離されました。  
「ユーザーモード」とは、システム（IPDS Receiver）の状態だけを表示するモードです。  
「管理者モード」とは、システムの起動・停止や設定が可能なモードです。  
Version 1.2 までの操作画面は、Webブラウザでの1つのアクセス先(URL)で、ログインするまではユーザーモード（管理者用メニューをグレーアウトで表示）、ログインすると管理者モードとなりました。  
Version 2.0 では、ユーザーモードと管理者モードが異なるURLとなり、ログインが不要なユーザーモードと、ログインが必要な管理者モードが分離されました。
  - ログイン・パスワードの最大長が64桁になりました。  
管理者モードにログインするためのパスワードの最大長が、8桁から64桁に拡張されました。
  - セキュリティ強化により、24:00にて強制ログアウトが行われ、24:00を超えた場合は画面がリセットされます。  
したがって、コンソール・ログ画面などを24:00を超えて表示し続けることはできません。  
管理者モードでは、ログイン画面が表示されます。  
ユーザーモードでは、ステータス画面に戻ります。
  - 最大同時接続数の管理を行わなくなったため、その設定が無効になりました。
- 以下の問題を修正しました。
  - メモリー・リークによって帳票の受信中に異常終了が発生する可能性がある不具合の修正  
PSFなどとのセッションの再接続時にメモリー・リークが発生するため、頻繁にセッションの接続・切断を行うと、プロセス「WPMPAFP.EXE」が使用するメモリー量が肥大化します。それにより、帳票の受信中に異常終了となる可能性がある不具合を修正しました。

---

TotalFlow-ER AFP Emulator for Print V1.2.1 までの変更点については

[README\\_Emulp\\_V12.htm](#) をご参照ください。

WPM AFP Emulator for Print V3.2 FixPack 2 までの変更点については [README\\_WPM.htm](#) をご参照ください。

---

## 導入方法について

AFP Emulator for Print の導入方法については「インストールガイド」の『2 プログラムのインストール』をご参照ください。

---

## 削除方法について

AFP Emulator for Print の削除方法については「インストールガイド」の『2.4 アンインストール』をご参照ください。

---

## バージョンの確認方法について

稼働している AFP Emulator for Print のバージョンの確認方法については、「システム管理ガイド」の「2.2『ナビゲーションバー』」および「2.8『バージョン情報』画面」をご参照ください。

本バージョンでは以下ようになります。

Console Server V2.0.2.0 / IPDS Receiver V2.0.2.0

AFP Emulator Application Server V2.0.2.0

---

## マニュアルについて

AFP Emulator for Print では、以下のマニュアルをPDFファイルとして提供しています。ファイルは AFP Emulator for Print 導入ディレクトリー直下の「doc」ディレクトリーと、インストール用CDのルート直下の「doc」ディレクトリーにあります。

- RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E01 (AFP Emulator for Print) インストールガイド（ファイル名：**ER\_Emulp\_Install.pdf**）  
『インストールガイド』は、AFP Emulator for Print の導入、削除や初期設定に関して、説明しています。
- RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E01 (AFP Emulator for Print) システム管理ガイド（ファイル名：**ER\_Emulp\_Admin.pdf**）  
『システム管理ガイド』は、AFP Emulator for Print に関して、システムの設定なども含めて説明するものです。

上記のマニュアルには、セキュリティーに関する記述がありますので、エンドユーザーがアクセスできない場所で管理することをおすすめします。

- RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E01 (AFP Emulator for Print) ユーザーズ・ガイド（ファイル名：**ER\_Emulp\_User.pdf**）  
『ユーザーズ・ガイド』は、エンドユーザー向けの操作ガイドです。AFP Emulator for Print クライアント上でエンドユーザーが行う操作について説明しています。

AFP Emulator for Print をお使いいただく前に、必ずお読みくださるようお願いいたします。

---

以上